

事業概要

補助事業番号 22-2-038

補助事業名 平成22年度 障害者ケアホームの建築整備補助事業

補助事業社名 特定非営利活動法人 出発のなかまの会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当法人は、大阪市生野区を中心に生活介護事業所2ヶ所と共同生活介護（ケアホーム）事業所6ヶ所、介護派遣事業所1ヶ所を運営している。

共同生活介護事業所のうち1ヶ所である「桃栗館」は賃貸物件であり、3階建ての建物の1階部分は一般家庭の方が利用されており、2、3階部分を利用して運営を行ってきた。建物も築年数がかなり経過しており、補修が必要になった際はその都度自己資金で補修を行ってきたが、老朽化が目立ってきている。また、先般の消防法の改正に伴って消防設備の設置も義務付けられることとなったが、既存の物件では階段の傾斜が急なことなど避難における安全面においても支障があり、利用者が安全で快適な暮らしをおくる住まいの場としては不便さが多い物件である。

そこで、障害特性に配慮し、利用者が安全で快適な暮らしをおくることができ、万が一の災害や火災時に備え避難経路を2方向確保するなど安全面においても格段に向上し、また、近隣で利用を希望する人のニーズにこたえていくために体験入居室を設けるなど、課題やニーズに対応するため移転新築し、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

施設名 [障害者ケアホーム 桃栗館](#)

構造 木造 地上2階建

延床面積 217,74㎡

定員 6名



全景



正面玄関と補助標識



リビングテレビ



リビング



ダイニング



2 F 居室前廊下



居室

2. 予想される事業実施効果

本施設が整備されたことにより、住み慣れた地域社会の中でひとり一人の暮らしにあった自立生活が行なえるのはもちろんのこと、住環境が従前よりも格段に向上したことにより、障害特性に配慮が行なえることで生活の安定がはかれる。さらに消防設備の整備や避難経路の2方向の確保等で安全面においても向上することから、安全・安心に大きく寄与することができる。

また、まだケアホームを利用したことのない地域の障害者の方に体験入居室を活用することによって一人でも多くの障害者を、地域での自立生活を行ないたいというニーズにこたえる活動によって社会福祉の増進に寄与・貢献することが出来ると考えられる。

さらに個別ケアの充実を図り、利用者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することによって、本施設は今後ますますその重要性が高まっていくであろうと思われる。

3. 本事業により作成した印刷物等

無し

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 出発のなかまの会（タビダチノナカマノカイ）

住所： 544-0011

大阪市生野区田島一丁目10番30号

代表者： 役職名 代表理事 月川 至（ツキガワ イタル）

担当部署： 生活介護 どんぐり作業所

担当者名： 責任者 吉岡 徹（ヨシオカ トオル）

電話番号： 06-6752-4695

FAX： 06-6752-4685

E-mail： don-guri@oct.zaq.ne.jp

URL： <http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati>

『桃栗館新築移転完了報告』及『財団法人JK A 競輪補助事業完了のお知らせ』

平成23年2月28日、桃栗館の新築移転が無事に完了いたしました。またこの事業に際して財団法人JK Aの競輪公益資金による障害者ケアホームの建築整備補助事業補助金の交付を受けて完了いたしましたことをご報告申し上げますと共に、財団法人JK Aをはじめ、ご協力を賜りました関係者各位に対し、謹んで感謝の意を表します。

新・桃栗館は木造2階建ての延床面積217.74㎡の障害者ケアホームです。3月5日には、お披露目会を行い入居者をはじめ関った皆さんや関係団体の方々をお招きしてささやかなお祝いを行いました。

3月19日には引っ越しも無事に完了して新生活をエンジョイ(?)しているところがあります。建築プロジェクト委員が発足して2年超、みんなで考えたくさん悩んで設計士さんや工務店の方とも意見をぶつけ合あってようやく完成した建物です。木造にこだわり木のぬくもりを大切に室内となっており、みんなで料理ができるようにとアイランドキッチンとなっています。1階のウッドデッキスペースはお茶やバーベキュー、餅つきなどをしようと計画しています。入居者や会のメンバーだけでなく地域の方、他の団体の方などたくさんの方が利用できる憩いの場所になるように今後、地域ふれあい委員と進めていきたいと思っています。

これだけ環境面が整備されたからにはソフト面も充実させ支援者一同力を尽くしてゆく所存ですのでよろしく願いいたします。

建築には、まったく無知の私がこのようなプロジェクトに責任者として加わらせていただき、悩み、本当に頼りなく反省することばかりでした。けれども、その過程でたくさんの方々と知り合うことができご協力いただき完成にこぎつけられたことは自分自身にとってとても貴重な経験となり勉強になり、なにより大きな財産になったと思おもっています。ありがとうございました。

家を建てるなんて機会はそうそうあるもんじゃありません。こんな貴重な経験をさせてもらった私が今後、そういう機会に恵まれたとしたらきっとこだわりの多いうるさい建築主になるんじゃないかと思えます。個人的にそんな夢のようなチャンスが来ることを願って…。

最後に、これからは入居者の皆さんがそれぞれの個性を活かして居心地のいい最高の住まいになるように新桃栗館の歴史を創って行ってください。

(ミノル・T)